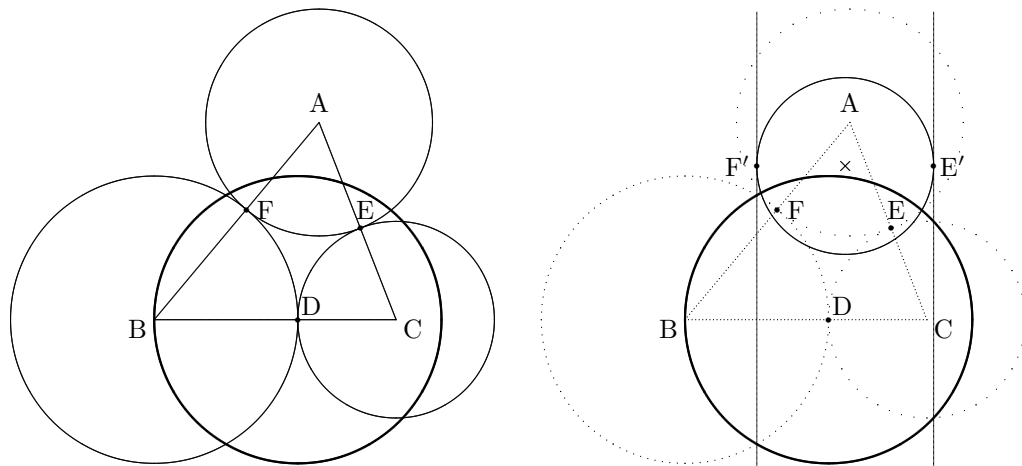


では、最初の問題に戻しましょう。

反転 (Möbius Transformation) を使います。点 D を中心に B を通る円で**反転**します。



反転の性質から、基準円の中心 D を通る円 B と C は直線に (中心 D は反転により無限遠点に写ります), 従って、この2つの円に接する円 D は2本の直線に接する円に写ります。

このように、**反転**では接する、交わるなどの状況が保存される (変化しない) ことを利用します。

というわけで、反転してできた2本の直線と1つの円に接する円を描きます。

それを再び反転した円を描きます。

この円が求める円で、その中心が求める点となります。

